

藤川金属工業 株式会社

世界トップクラスの技術、
インパクトプレス加工で
今までにない低価格、高品質を実現

納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 マイドインジャパン 試作可小ロット 量産対応



コア技術であるインパクト加工とプレス加工を融合させた技術開発で生まれた造形美



工場を併設されているとは思えない美しい社屋。振動や騒音にも配慮している

インパクト加工で誕生した
高性能、二体型デザイン
特許取得の新技术も登場

コンパクトながらも臨場感溢れる音を再現するスピーカー、パナソニックの「RP-SPF01」。継ぎ目のない二体型アルミ外箱が、無駄を省いた機能美と音質の良さを実現。この外箱を生み出したのが、藤川金属工業のインパクトプレス加工法である。業界初の偉業としてパナソニックのモノづくりにスピリッツ発見マガジン「i.s.m」でも紹介された。

世界トップクラス、国内唯一の特殊インパクトプレス加工技術を誇る同社は、板金精密プレス加工、板金絞り加工、板金溶接、表面処理等の豊富な技術を持つ金属部品加工のスペシャリストだ。素材を強圧し成型するプレス加工の中でも、インパクトプレス加工は材料であるアルミの塊（スラグ）にパンチで衝撃を与え、スラグがパンチに沿って伸び上がることを利用した加工法。何工程も必要とする通常のプレスと違い、一工程で成形が完了。加工スピードが格段に早く、金型を大幅に削減できるためコストも軽減でき、材料効率も上がる。

平成21年10月には、全国中小企業中央会ものづくり助成金（試作開発等支援事業）に採択され、このインパクトプレス加工により、携帯電話等のデジタル家電の薄型化、低価格等を可能にする試作開発に着手している。

充実の設備とコア技術で
次世代の家電、電池を開発
産官学連携で新技术に挑む

同社の強みは、6300トンの主力プレス加工機をはじめ、3000トン・2000トンのデジタルサーボプレス加工機等、充実の最新設備を搭載していることである。これらから生まれる主力商品は、家電・自動車・住宅建材の金属パーツ等実に幅広い。プレス、鍛造と二つの金属加工のノウハウを兼ね備え、部品設計から試作、量産、また加工法や金属材料の選定提案を含め商品化までをトータルサポートしている。

平成22年6月、戦略的基盤技術高度化支援事業の鍛造技術分野において、財団法人大阪科学技術センターを事業管理機関にアルミニウムスラグのトップメーカーである日本圧延工業、同志社大学と連携、材料加工製品スベックに至るまで各分野ごとに研究開発をし、アルミ合金製大型矩形電池ケースの開発に挑戦する。次代を見据え、高品質・多仕様を要する自動車・住宅等を対象とした大容量・大型電池の軽量化、高強度、低コスト化が目標だ。

そして同年7月には、内底面に突起物を一体成形させる等、二工程で表裏異なる加工ができる新技术「二重インパクト成形加工法」で特許を取得し、新たなものづくりステージへと躍進し続ける藤川金属工業。これからの、注目の存在となりそうだ。

Company Profile

藤川金属工業株式会社

ISO 14001

ISO 9001

大阪22

住所 〒557-0032
大阪市西成区旭2-8-9

TEL 06-6562-4315

FAX 06-6568-2633

設立 昭和28年3月1日

資本金 2,016万円

従業員 70名

代表取締役 藤川 健一郎

■主な事業内容

家電・自動車・住宅建材の金属部品の製造、家庭用電気用品の組立・2次加工等

■主な取引先

総合家電メーカー、自動車部品メーカー、魔法瓶・炊飯器メーカー、住宅建材メーカー等

<http://www.fujikawa-metal.com>

他社には
負けない

当社のもので
セールスポイント

海外進出より、日本で勝てる企業へ
会社の規模より、中身を重視!

代表取締役 藤川 健一郎 さん



私達は世界のどこにも負けないものづくりを日本国内でできると自負しています。それは技術力、人材を大切にしているためです。プレス技術1級等の国家検定取得をはじめとする人材育成にも努め、大きさより中身で勝負できる会社をめざしています。